

平成27年度兵庫県中学校高等学校青少年赤十字協議会例会(第2学期)報告書

- 1 日 時 平成27年11月8日(日) 10:00~15:30
2 場 所 丹波市市島町前山地区・ライフピアいちじま
3 趣 旨 平成27年度の例会のテーマ「奉仕」に基づき、
昨年8月の丹波市市島町の豪雨災害の被災
地を巡検し、「中学生・高校生ができる減災・復
興支援活動について」考え、今後の活動につな
げていく。



- 4 担 当 兵庫県立柏原高等学校
5 参加者 高等学校協議会副会長 1名、青少年赤十字メンバー 48名、指導者 15名、
講師 2名、丹波市復興推進部復興推進室 3名、日本赤十字社兵庫県支部職員5名
計74名

〈メンバー、指導者参加校〉

西脇市立黒田庄中学校、猪名川町立六瀬中学校、甲南女子中高等学校、神戸第一高等学校、
兵庫県立舞子高等学校、兵庫県立家島高等学校、兵庫県立芦屋国際中等教育学校、
兵庫県立国際高等学校、兵庫県立加古川東高等学校、兵庫県立龍野北高等学校、
兵庫県立柏原高等学校、兵庫県立上郡高等学校

6 内 容

今期例会は、担当校である兵庫県立柏原高等学校のメンバーによる司会進行のもと実施しました。午前には、丹波市復興推進部復興推進室のご協力のもと、兵庫県立柏原高等学校防災研究グループのメンバーが中心となり、昨年8月の豪雨災害の被害にあった丹波市市島町前山地区を視察。その後、ライフピアいちじまへ移動し、アルファ化米を使用した非常食の試食をしました。

午後は、市島町鴨阪自治会長角木様から「被害を最小限に食い止めるための住民の行動」、丹波市消防団市島支団第2分団第3部長余田様から「避難時における住民の誘導、判断」についてご講演いただき、各グループで、「絆な防災」と題して防災対策について話し合いました。

メンバーからは、「挨拶を交わしたり、交流会を開くことで近隣の方々とコミュニケーションを図り、地域間のつながりを深めておくことが防災につながる」「災害ランプや土嚢作り、非常食体験などをとおして日頃から防災の意識をもつことが大切」など多くの意見が交わされました。



〈被災地の視察〉



〈グループワーク〉